

- トウモロコシを使い、それを燃料として自動車を走ることにできる「バイオエタノール」。しかし、これには大きな問題点がいくつもある。

<バイオエタノールを生産する上での問題点>

- ・ 米国で4年連続されるトウモロコシの半分はエタノールに何かなと思われる。
- ・ 食料品を作り出す動物の飼料はほとんどがトウモロコシである。



**問題1. トウモロコシが大幅に値上がりする!!**

- ・ 自動車に乗る1億人の人口がトウモロコシを必用とする。
- ・ 極めて貧しい生活をする20億人もトウモロコシを必用とする。



**問題2. 同じ穀物を「競争」が起きる!!**

経済的に  
ⓧⓧⓧは争いとは!!

- ・ 1トンの穀物をつくるには、1000トンの水が必要。
- ・ 豊かな国は、水がも、すでに水を使い終えに枯沢の穀物をとんとん買ふようになり、貧しい国は買えなくなる。



**問題3. 穀物を通じて水の奪い合いにはる可能性が高い!!**

- ・ これらの問題を踏まえ、今、世界の各国に必要とされていること。 etc...
- ・ (中国) 水の生産性を上げなければならぬことと、下水のリサイクルをすること。
- ・ (米国) 過去の石油時代を大きく変える新しいやり方が必要。エタノールの代わりにプラグ式、ハイブリットカーに期待できる。  
この車を利用する上での電気は風力発電を使用すること。
- ・ (日本) 自動車や太陽電池でも、世界のトップクラスを走る日本。特に風力や地熱など、そのための発電方法がある。さまざまに革新できる日本だが、特に地熱の利用拡大を促すこと。

・ 今の現実から見える大問題

米国では、ハリケーンカトリナの被害が大きく影響しているため、気候変動に関心が持たれている。つまり、このような各地で起る気候変動は、歴史上、食糧とエネルギーの経済は別々に存在してきたが、今は二つの間に線を引けなくしている。これが新しい大問題であると言える。